

新年おめでとうございます

本年も市民図書館をどうぞご利用ください

お年玉企画 図書館クイズに挑戦!

期間:1/5~ 景品がなくなり次第終了
えほんのへや:1/6~

小学生読書リーダーや図書館員が作った図書館クイズ(3択)です。

解答用紙に答えの番号等を記入

カウンターに解答用紙を提出

景品を1つプレゼント(景品は選べません)

クイズへの参加は1人1回



「科学道 100 冊」~「知りたい!」が未来をつくる~

「科学道 100 冊」は、本を通じて科学者の生き方・考え方や 科学の面白さ・素晴らしさを届ける事業(推進者:国立研究開発法人理化学研究所、編集工学研究所)です。「テーマ本」50冊と「科学道クラシックス(時代を超えて読みつぎたい本)」50冊で構成されています。

市民図書館では、中央館2階に選定本を展示しています。今回は、テーマ本「科学する女性」の中から2冊を紹介します。

『世界でさいしょのプログラマー』

エイダ・ラブレスのものがたり』

フィオナ・ロビンソン/作 せなあいこ/訳 評論社

1815年12月、英国を代表する詩人バイロンと数学者の母の間に生まれたエイダ・ラブレスは、風変わりな女の子でした。



夢は蒸気で動く、空を飛ぶ馬を作ること。豊かな想像力と知識をあわせ持った彼女は、世界初のコンピュータが作られる100年以上も前に、計算機から絵や音楽などをプログラム化できると考えました。

『研究するって面白い!』

科学者になった11人の物語』

伊藤由佳理/編著 岩波書店

この本に出て来る女性たちは、編著者の伊藤さんが出会った数学、医学、化学、薬学、生物学など理系の専門分野で活躍する科学者11人です。もともと理系の研究者を目指していた人ばかりではなく、大学時代は文学部で歴史を学んでいた人もいます。彼女たちはどのように進路を決め、研究者になったのでしょうか。



蔵書点検のお知らせ

図書館資料点検のため、下記の日程で休館します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

中央館: 2月24日(月)~2月27日(木) 深田分館: 2月25日(火)~2月27日(木)

須恵分館: 2月27日(木)~2月28日(金)